

平成 27 年度 西宮市公共事業評価シート

【1次評価結果】

実施予定年度	H 27 年度 ~ H 29 年度	[ ]			
事業名	むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所統合施設整備事業	実施箇所	西宮市芦原町		
担当部署	局 子育て支援局	部・室	子育て事業部	課	児童福祉施設整備課
総合計画	I部 まちづくり	2章 すこやか・はぐくみ	10節 子育て支援の充実		

事業目的	〈事業実施の背景となる問題・ニーズ〉 むつみ保育所・むつみ児童館及び芦原保育所は耐震診断の結果、地震に対する安全性の向上を図るよう努める必要がある。また、保育所については、多様化する保育ニーズに応えるセーフティネットとしての機能強化を図っていく必要がある一方で、本市における就学前児童数は減少傾向にあり、50年から60年の耐用年数となる施設としては、将来的な保育ニーズも踏まえ、総合的な子育て支援施設としての用途変更や事業の複合化を図ることも検討しなければならない。								
	〈対象〉 むつみ保育所・むつみ児童館及び芦原保育所								
	〈成果(対象をどのような状態にしたいか)〉 子育て支援の拠点施設として、むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所の統合施設を「みやっこキッズパーク」西側に隣接する市有地において整備することにより、課題となっていた施設の老朽化対策や耐震性の向上を図れるのみならず、今後、既存の「西宮市立子育て総合センター」や平成27年9月に開設した「西宮市立子ども未来センター」とも相互に連携を図り、市内の子供たち全体に対する支援機能の強化や、地域における子育て支援の充実など、総合的な子育て支援を進める。								
	指標名(代表的なもの)	最終目標値設定の考え方・根拠	目標年度	単位	現在値	最終目標値			
	Is値(Seismic Index of Structure:耐震指標)	Is値を、地震の震動及び衝撃に対し倒壊し又は崩壊する危険性が低い安全と判定される0.6以上とする。	Is値	0.31~0.42	0.31~0.42	0.6以上			
事業の目的・内容	「西宮市立子ども未来センター」及び「西宮市立子育て総合センター」との連携による子育て支援事業開催					回	0	0	12
	<p>1. 整備予定地 (1)地番 芦原町79番7他 (2)敷地面積 約2,700㎡</p> <p>2. 施設 (1)構造 RC造 (2)延床面積 約2,100㎡ (3)配置 1・2階 保育所、3階 児童館 (4)施設内容 保育所と児童館はいずれも、エレベーターや多目的トイレを設置し、バリアフリー化を行うとともに、安全に配慮した施設設計とする。 (5)保育所定員 210名(予定、現在のむつみ保育所90名+芦原保育所120名)</p> <p>3. その他 周辺の安全対策として、西側県道の歩道と繋がるかたちで敷地内通路部分を設けるとともに、別途南側の市道の歩道を拡幅し、南西角にポケットパークを整備する。</p>								
スケジュール	年月または年度	取組内容							
	平成26年度以前	内部検討、保育所保護者説明会等開催。							
	平成27年度	パブリックコメントの実施、保育所保護者説明会等開催、統合施設設計。							
	平成28年度	統合施設設計・新築工事。							
	平成29年度	統合施設新築工事、初度調弁費、引越等事務費。							
	平成30年度	旧施設解体工事等。							
平成31年度以降	旧施設解体工事等。								

事業計画	予定事業費	1,405,836 千円	左記の内 国県支出(千円)	7,759	起債+一般財源(千円)	1,398,077
	事業による経済効果等	費用便益比(B/C) = [国の指定算出方法に準拠] (算出が困難な場合は、期待される効果のみを記述) ・50~60年の耐用年数。 ・施設更新による老朽化対策費用の減。 ・電灯のLED化等、最新設備導入による省電力化。				

必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽(経年、被災等により構造耐力が著しく低下し、非常に危険な状態にあるもの)100</li> <li>むつみ保育所・むつみ児童館 Is値0.31、芦原保育所 Is値0.42</li> <li>複合施設加算10</li> </ul>						
合理性	<ul style="list-style-type: none"> <li>同等の性能を確保できる他の案との経済比較を行った際に、事業案の方が経済的であると評価される場合。</li> <li>両施設建替時:建築工事費約13.5億円、仮設園舎リース料約1.5億円 事務費等約0.5億円 計約15.5億円(事業案 約14億円)</li> <li>※事業案では児童館を継続使用でき、また、今後の施設運用に柔軟性を持たせられるが、平成30年4月までは耐震化した施設での保育等は提供できない。代替案では仮設園舎へ移動することで平成29年中に耐震化した施設での保育を提供できるが児童館を約1年間休館せざるをえない。これらを勘案し同等の性能とする。</li> </ul>						
効果1	用地の取得・借用:1.1 災害防止・環境保全:1 アクセスの確保:1 都市計画その他の土地利用に関する計画との整合性:1 敷地形状等:1 建築物の規模:1 敷地の規模:1 機能性(業務を行うための基本機能に該当する部分):1 社会性、環境保全性及び機能性(施策に基づく付加機能に該当する部分):1.1						
効果2	環境保全性については一般的な取り組みの計画、ユニバーサルデザインについては法令規定に基づく計画、防災性については西宮市耐震改修促進計画に基づいた整備など一般的な取組にとどまるが、拠点的な子育て支援施設として2施設を統合し、近隣の施設と連携を密接に取るかたちとするため、地域性は高い。						

懸 案 事 項 等	<b>事業を実施しない場合の懸案事項等</b>
	・本事業を実施しない場合、現地にて耐震化を図る必要があるが、むつみ保育所・児童館については、現在の建築基準法には適合しない建物であるため、現地で建て替えると、現敷地から道路の幅員拡幅部分や駐車場用地を確保する必要があることや、現在の3階建てを2階建てに変更しなければならず、園庭もかなり狭くなるなど、現在の機能・規模を維持することが困難となってしまう。
	<b>事業を実施した場合の懸案事項等</b>
	・整備予定地の西側が今津西線、南側がザビエル道路(通称)であり、送迎時の安全確保が課題となる。

平成 27 年度 西宮市公共事業評価シート

事業名	むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所統合施設整備事業
-----	-----------------------------

【2次評価結果】

[ 1:計画どおりの実施が望ましい 2:計画の一部見直しが望ましい 3:計画の大幅見直しが望ましい 4:実施の見送り、中止が妥当である ]

評価委員会 の総合判断	1	計画どおりの実施が望ましい
	評価委員会の総合的な意見	
	<p>本事業については、計画どおり事業を実施することが妥当と判断する。</p> <p>なお、事業の実施にあたっての委員会の意見は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業の基本方針に記載されている敷地南側の歩道拡幅、道路改良など、予定されている交通安全対策を確実に実行すること。</li> <li>・障害のある児童の保護者等へのヒアリングを行うなど、より一層、ユニバーサルデザインに配慮すること。</li> <li>・本事業の意義や必要性などについて、保護者説明会などを通じた広報活動に努めること。</li> <li>・みやっこキッズパークとも調整し、敷地が隣接する部分においては、景観に配慮した施設計画を検討すること。</li> <li>・歩道拡幅による交通安全対策や保育所児童による広場利用など、別途計画中の旧芦原小学校の再整備事業との連携を図ること。</li> </ul>	